

令和8年6月

霧島市教育委員会

第6回定例会

議事録

霧島市教育委員会

令和8年6月25日

令和8年6月 霧島市教育委員会定例会議事録（要約版）

日 時 令和8年6月25日 木曜日 午後2時58分～午後3時46分

場 所 国分シビックセンター行政庁舎 別館3階 教育委員室

出席者 池田教育長、鶴ヶ野委員、谷口委員、甲斐委員

上小園教育部長、林元次長兼教育総務課長、皆倉学校教育課長、松崎学校給食課長、福永社会教育課長、鮫島国分図書館長兼メディアセンター所長、山下国分中央高校事務長、有村横川総合支所長、山口牧園総合支所長、栗野霧島総合支所長、梶福山総合支所長、伊澤溝辺地域振興課主幹、坂元教育総務G長、横山教育政策G長

計 18 人

傍聴者 0 人

議 事

議案等番号	件名	結果
報告第17号	霧島市立図書館協議会委員の委嘱	承認
報告第18号	霧島市メディアセンター運営委員会委員の委嘱について	承認
討論第2号	令和7年度教育長及び教育委員活動状況評価について	—

1 教育長の活動報告（令和8年5月21日以降）

- 5月22日：市防災会議、霧島市地域雇用創造協議会総会、社会教育委員の会議に出席。
- 5月23日・24日：中津川小学校運動会、国分北小学校運動会に参加。
- 5月25日：姉妹都市である海津市からの中高生で構成される青少年訪問団の表敬訪問対応。
- 5月27日：始良・伊佐地区市町教育委員会連絡協議会総会及び研修会に参加。
- 5月29日：始良市で開催された第1回地区教頭研修会に参加。
- 5月31日：霧島創造舞台の公演に参加。
- 6月4日：スポーツ団体誘致歓迎実行委員会総会等複数の委員会に出席。
- 6月8日以降：市議会本会議が開会（一般質問の詳細は後述）。
- 6月13日：第26回目となる「ニューライフカレッジ霧島」の開校式及び第1回講座に参加。
- 6月15日：霧島商工会議所及び霧島市商工会に対し、求人票の早期提出要請活動を実施。
- 6月20日：陵南幼稚園、富隈幼稚園の運動会に参加。
- 6月22日：市教委訪問として上小川小を訪問。

## 2 報告

### 報告第 17 号：霧島市立図書館協議会委員の任命

- 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例第 7 条に基づき、委員（任期 2 年）を任命するもの。
- 新たに、安藤委員と小原委員の 2 名が学校教育関係者として選任された。
- 質疑応答の後、本件は承認された。

### 報告第 18 号：霧島市メディアセンター運営委員会委員の任命

- メディアセンターの設置及び管理に関する条例施行規則第 7 条に基づき、委員（任期 2 年）を任命するもの。
- 委員 6 名のうち、新たに 4 名を任命。
  - 学校教育関係者：川畑委員（校長協会代表）、桑木野委員（教頭会代表）
  - 社会教育関係者：田間委員（読書活動ボランティアグループ代表）、花牟禮委員（自主研修団体代表）
- 質疑応答の後、本件は承認された。

## 3 討論（令和 7 年度教育長及び教育委員活動評価）

主な意見・議論は以下のとおり。

- **総合教育会議の運営**：現状の 1 時間半という時間枠では市長との議論が不十分であり、懇親会等の予定もあって慌ただしいとの指摘があった。事務局は、定例会の開始時間を早めるなど、市長部局と調整しながら運用の改善を検討する意向を示した。
- **市民との意見交換**：年に 1 回の形式だけでなく、学校訪問の機会を活用して地域住民と対話するなど、より多様な機会を設けるべきとの意見が出された。
- **各種委員の任命提案**：委員を任命する際には、単に名簿を提示するだけでなく、当該委員会の役割や活動内容、任命の必要性について説明を加えてほしいとの要望があった。
- **働き方改革と人事異動**：教職員の人事異動内申のために臨時会が土日に開催される現状について、管理職が率先して働き方を変える姿勢を示すべきだという意見が述べられた。
- **表彰制度**：前年度の意見を反映し、表彰対象者の選定方法が改善されたことに対し、委員から評価する声が上がった。

最終的に、今回の討論で出た意見は事務局で整理・確認の上、外部評価を経て議会への報告書に反映されることが確認された。

## 4 その他

### (1) 霧島市議会定例会の一般質問

- 全 25 名の議員のうち 23 名が質問し、そのうち 11 名が教育関連の質問を行った。
- 主な質問は、自転車の交通ルール（3 件）、熱中症対策（3 件）、不登校児童支援の支援体制の構築と多様な学びの場の拡充等であった。

### (2) 心の健康観察アプリの改善

- データ蓄積によるレスポンス低下の問題に対し、DX 推進室が自動クリアプログラムを導入し、動作が大幅に改善されたことが報告された。
- 委員からは、改善状況を各学校へ周知し、具体的な成功事例をレクチャーすることで利用促進を図るべきとの意見が出た。これに対し、事務局から 7 月 3 日の校長研修会で紹介する旨を回答した。

### (3) 災害時の休校判断

- 大雨や台風時の休校判断について、現状は学校長判断だが、地域間のばらつきや判断の難しさが課題として挙げられた。
- 委員からは、リスク回避の観点から、教育委員会がある程度の基準をもって早めに判断を示すべきではないかとの意見が出された。事務局は、市長部局と協議しながら、より良い運用方法を検討中であると説明した。

### (4) 不登校児童生徒の状況

- 令和 8 年 5 月末時点の不登校児童生徒数は、小学校 23 名、中学校 74 名で、前年度（小学校 31 名、中学校 83 名）と比較して減少傾向にあることが報告された。
- 減少の要因として、継続的な家庭や子どもへのアプローチが挙げられ、今後もこの取組を続ける方針が示された。

### (5) 昨年度の豪雨被害への対応

- 被害が大きかった国分中央高校の農機具については、既に入札が完了し、現在は業者からの借用で対応していることが報告された。